

令和4年度 第1回宇治市スポーツ推進審議会

議事要旨

宇治市

令和4年度 第1回宇治市スポーツ推進審議会 議事要旨

〈開催年月日〉

令和5年3月28日（火） 14時00分～

〈開催場所〉

宇治市生涯学習センター1階 第2ホール

〈出席者〉

➤ 委員

長積 仁（会長）	立命館大学 スポーツ健康科学部 教授
佐野 恵理子（会長職務代理）	（一財）宇治市スポーツ協会 副会長
石井 敬己	（株）京都パープルサンガ ホームタウン推進課長
上林 功	追手門学院大学 社会学部 准教授
佐藤 朋子	宇治市スポーツ少年団 副本部長
多田 重光	（公社）宇治市観光協会 専務理事兼事務局長
西山 正一	宇治市体育振興会連合会 副会長
長谷川 理生也	宇治商工会議所 専務理事
森 美奈子	摂南大学 農学部食品栄養学科 講師

計9名

➤ 事務局

松村 淳子	市長
脇坂 英昭	産業観光部 部長
前田 聖子	産業観光部 副部長
久泉 昭人	産業観光部 文化スポーツ課 課長
萬谷 智	産業観光部 文化スポーツ課 スポーツ係 係長
玉木 太陽	産業観光部 文化スポーツ課 スポーツ係 主任
伊藤 大志	産業観光部 文化スポーツ課 スポーツ係 主任
和田 輝里	産業観光部 文化スポーツ課 スポーツ係 主事
吉高 史彩	産業観光部 文化スポーツ課 スポーツ係 主事

計9名

〈会議内容〉

1. 開会
2. 市長挨拶
3. 委員、事務局職員紹介

令和4年度 第1回宇治市スポーツ推進審議会 議事要旨

4. 議事

(1) 会長選出、会長職務代理の就任について

宇治市スポーツ推進審議会条例第5条の2の規定により、長積委員が互選により会長に選出された。また、宇治市スポーツ推進審議会条例第5条の4の規定により、長積会長が佐野委員を会長職務代理に指名した。

(2) 審議会の会議の公開について

審議会の公開について、事務局より説明。

(3) 「第2期宇治市スポーツ推進計画」に基づく令和4年度事業に係る進捗状況の検証・評価について

(事務局)

第2期宇治市スポーツ推進計画の基本理念として「スポーツで育む健康と地域の絆～FUN SPORTS PLUS～」を掲げ、市民一人ひとりが運動・スポーツをさまざまな形で「たのしみ」、心身ともに健康でいきいきと自分らしく暮らすとともに、一緒にスポーツを楽しむ仲間や、イベントを支える団体や地元企業、ボランティア等と「つながる」ことで地域との絆や地域の愛着を育み、新たな知己の魅力や施策の展開等、市内外への「ひろがり」へと拡大していくことを目指している。

令和4年度は計画初年度として、スポーツ実施率の向上を目的とした「ニュースポーツひろばの地域展開」や、感染症の影響により複数年中止となった市民主体で構成される実行委員会形式で実施するスポーツイベントを支援する「スポーツ気運醸成事業」、スポーツ実施機会の創出を目的とした「スポーツ次世代育成事業」、ワールドマスターズゲームズ関西の開催を契機とした「フライングディスクのまち宇治推進事業」などを実施した。

他部署の事業として、都市整備部の西宇治公園中庭の整備や、健康長寿部の宇治市健康づくり・食育アライアンスU-CHA実施事業などがある。

その他として、市ホームページや市公式LINEを活用した広報活動等を実施した。

(委員)

宇治川マラソン大会では600人以上、スポーツ次世代育成事業では70人以上のボランティアの方にご協力いただいているとのことだが、ボランティアとしてご参加いただいている方に対して、特典等はあるのか。

(事務局)

宇治川マラソン大会は京都国体開催に伴う機運醸成の取組みとして始まり、市民主体で関係団体の協力により運営している。このような経過から、現在に至るまで市民主体のボランティア理念が根付いていると考えられる。

特典として、現在はクオカードが配付されている。元々は大会のスタート・ゴール地点である山城総合運動公園でお食事をしていただけるように食事チケットを配付していたものである。

令和4年度 第1回宇治市スポーツ推進審議会 議事要旨

スポーツ次世代育成事業は、各スポーツ少年団の方にボランティアとしてご参加いただいている。子どものスポーツ実施率向上を目的としているもので、ボランティアとしてご参加いただくことで、スポーツ少年団への加入者の増加に繋がることも期待している。

(委員)

全国的に見ても、このようなスポーツボランティアの方たちは、次に繋がっていないと感じている。イベント等にボランティアとして参加いただくことで地域で使えるデジタル通貨を付与し、市内の企業等で使用できるという取組みを行っている自治体もある。ボランティアとしてイベントに参加していただくことを産業や観光などの他分野の活性化に繋げることはできないか。

(委員)

宇治川マラソン大会のボランティアについて、過去は1,000人を超えていたこともあるが、現在はタイム計測等のデジタル化が進み、作業も効率的になったことにより、ご協力いただくボランティアの方も少なくなっている。ボランティアとして携わっていただいている方の内訳としては、地域体育振興会やスポーツ推進委員等、市内関係団体の方が多い。また、関係団体を脱退された後でも、個人的にボランティアとしてご参加いただいている方もいる。先ほど事務局からもあった様に、過去の経過があり始まった事業で、ボランティア理念など現在まで続いている。他分野等との繋がりもあるが、このような人と人との繋がりもある。ほとんど特典等が無い中で、ご参加いただいている600名を超えるボランティアの方こそが宇治市の財産である。

(委員)

他市では、保護者会がボランティアでスケートリンクを作り管理され、そのリンクで活動された方がトップアスリートとして活躍されている事例もある。スケートリンクは歴代の保護者から繋がり、地域で継承されている。地域スポーツからトップアスリートまで繋がる仕組みができており、学校部活動の地域展開にも繋がっているように思う。

宇治市に置き換えた場合も、ボランティア活動等の繋がりが他分野へ繋がっていくこともできるのではないか。

(委員)

宇治川マラソン大会では、ボランティアとの繋がりもあるが、沿道等で応援されている市民の方と参加されているランナーとの繋がりもある。また、府外からの参加者も多く、観光分野の経済効果も大きいのではないか。

(委員)

先ほど、地域で使えるデジタル通貨の話があったが、宇治市では過去に、地域で使用できるクーポンを発行していたこともある。

令和4年度 第1回宇治市スポーツ推進審議会 議事要旨

(委員)

今年2月に行われた宇治川マラソン大会では走路員として従事していたが、他府県ナンバーの車両の通行が多かった。迂回を促す際に、観光地や宇治市の名産をプレゼンテーションできれば、宇治市の魅力が伝わると思う。

(委員)

今年1月に宇治市で「U-CHAフェスタ」が開催され、運営に協力していた。健康に関心のある方は、どちらかというところが高齢の方が多くイメージがあったが、イベントにはあらゆるライフステージの方が来場され、宇治市はこれだけ健康に関心がある方が多いということに驚いた。スポーツだけに限らず、健康に関心のある方が多いというこの資源をいかに育てていくかというところがポイントである。

(委員)

今までの話を聞き、宇治川マラソン大会は観光の要素が強いイベントであると思っていたが、地域に根差し、皆様が誇りをもって運営されているイベントであるということを実感した。スポーツは横の繋がりや要素が強いと思う。

(委員)

危機管理室や、図書館が防災関連のイベントを行っている。人命に関わることは関心を持ってもらいやすい。そういったところにスポーツを絡めることはできないか。

(会長)

観光や産業振興を担う「産業観光部」に「文化スポーツ課」がある意味合いを踏まえ、様々な部局間連携を図っていただきたい。

5. その他

(1) 令和5年度予算の概要について

(事務局)

全庁的な取組として、「子育て・子育て環境の充実」があり、スポーツによる多世代交流の促進や運動機会の創出として「つなげる・ひろがるスポーツ振興事業」と、「誰もが住みやすい地域共生社会」の実現に向け、「フライングディスクのまち宇治推進事業」などを予算措置した。

「つなげる・ひろがるスポーツ振興事業」の主なものとして「Uji こどもスポーツフェスタ」と「多世代交流スポーツフェスタ」がある。

「Uji こどもスポーツフェスタ」はスポーツをしたいが、何をすればいいかわからないという方に対し、スポーツを始めるきっかけを提供するもので、スポーツ少年団がそれぞれの体験ブースを運営していただき、体験するだけにとどまらず、今後も継続していただくことを目的としたイベント。令和4年度に第1回を開催しており、小学生以下のお子様を含む、ご家族連れに多数ご来場いただき、複数のスポーツ種目を体験いただいた。令和5年度はプロスポーツチームとの連携や広報物の充実を図り、にぎわい作りに取組む予定。子育て世代が親子で様々

令和4年度 第1回宇治市スポーツ推進審議会 議事要旨

なスポーツを体験し、子育て世代同士の触れ合いや繋がりを促進し、さらには世代を超えた交流の機会を提供する。

「多世代交流スポーツフェスタ」は、子育て世代が親子で様々なスポーツを体験し、子育て世代同士の触れ合い、繋がりを促進し、さらには世代を超えた交流の機会を提供することも目的としたイベント。

スポーツまつり・ニュースポーツひろばについては、既存の取組に加え、フライングディスクやボッチャなどの親子でも楽しむことのできるブースを設置し、多世代へのスポーツ実施機会の提供に取り組む。

都市整備部の事業として、黄檗公園における沿道や野球場のスコアボード、スタンドの改修に係る予算が計上されている。

(委員)

フライングディスク普及の観点で、遊具メーカーでは就学前の児童が使用できる柔らかく、小さいフライングディスクを販売されている。幼稚園や保育園に通っている段階から、フライングディスクに触れる機会を作ること、更なる普及に繋がる。また、フライングディスクの大会を独自に開催することができれば、第2の宇治川マラソン大会の様に、宇治市独自のものになるのではないかと。

黄檗公園再整備事業について、園路の改修ができればよいのではないかと。黄檗公園内のどこへ行く際にも必ず通る場所である為、キッチンカーを配置する等、今以上にエリアマネジメント的に使用できる様に改修すればフェス等を開催した際に活用できる。公園全体を考えた沿道づくりを誘導したほうが良いのではないかと。

(事務局)

フライングディスクについて、小中学生にも使用していただけるように宇治市普及版のオリジナルディスクを作成し、市内の小中学校へ配付している。更に小さな就学前の児童が使用できるものがあるとお聞きし、宇治市オリジナル版として作成することも検討したい。

フライングディスクの大会についても、1度だけの開催で終わらず、宇治市のレガシーとして、引き継がれるように取り組んでいきたいと考えている。

黄檗公園について、指定管理制度が導入され、スポーツの全国大会の誘致等、これまで以上にスポーツ分野との連携が求められている。所管が都市整備部である為、詳細まで関与することは難しいが、今回出た意見は共有させていただく。

(委員)

障害者スポーツ大会について、イベントの開催だけではなく、車イスに乗っておられる方が会場まで来やすい環境の整備等も必要。第2期宇治市スポーツ推進計画の中には、障害者スポーツに関しても触れられているが、令和4年度は特に取り掛かれていないように感じる。障害者関連との連携も重要。

令和4年度 第1回宇治市スポーツ推進審議会 議事要旨

(事務局)

障害者スポーツ大会は実行委員会形式で開催されており、令和4年度についても実行委員会内で様々な意見が上がっていた。中止の意思決定についても苦渋の決断とされた。令和5年度についても、障害者分野と連携になる為、確実なことは言えないが、実施される場合、先ほどあった様に会場までのアクセス等も検討したい。

(委員)

ユニバーサルスポーツに資する形で、健常者の方も障害者の方もその垣根無く行えるユニバーサルスポーツが体験できる場所を東京のお台場を作る計画が進んでいる。宇治市でも、健常者・障害者の垣根無く取り組むことができる車イスアルティメット等を独自で発信できないか。

(委員)

ここ最近、夜中にウォーキングをされている方をお見受けする。このように健康の為にご自身で取り組んでおられる活動をスポーツと絡められないか。

(委員)

パトロールランニングといって、地域の見回りを兼ねてランニングされる活動もある。こういった取組を地域のスポーツ少年団やスポーツ協会と連携し、パトロールランニングの活動に登録していただくと、何か特典をもらえるといったような取組ができればおもしろい。

(事務局)

宇治市ではウォーキング等の運動と防犯を絡めた「ながら防犯」という取組を総務課が進めている。

(会長)

丸亀市では実際にスポーツと防災を絡めた取組を行っている。人々が関心の無いことを他分野と絡めて発信することが重要である。

(委員)

先日、「親子でチャレンジ簡単防災クッキング」というイベントを行った。やはり人命に関わることは関心が高く、イベントも賑わっていた。直接スポーツと絡めることは難しいが、様々な分野をスポーツに絡めるという観点は非常に良いと思う。

(委員)

例えば、柔らかい座布団の様なフライングディスクを作成することはどうか。災害が起こった際に、防災頭巾として活用できるようなもの。

令和4年度 第1回宇治市スポーツ推進審議会 議事要旨

(会長)

スポーツ分野が産業分野にあることで、非常に色々なアイデアが生まれる。そういったことを繋げることができれば、部局間連携に繋がると思う。

スポーツの楽しみ方は人それぞれである。「する」だけではないことを我々も理解しなければならぬ。次年度の新規事業は「つなげる・ひろがる」の部分に注視しているように思う。スポーツを楽しむための施策があるからこそ「つなげる・ひろがる」に繋がると思う。そのあたりを踏まえながら、来年度計画されていることを令和6年度につなげていただきたいと思います。

4. 閉会

- 事務局異動者報告
- 事務局挨拶